

令和元年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名：「令和元年度 自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成研修」

期間： 令和元年 8月31日（土）～9月1日（日） （1泊2日）

対象及び参加人数： 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある方 22名

目的：

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じ、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。

事業概要：

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラム」に則り、事業を実施した。

参加人数は22名（大学生17名、社会人5名）が参加した。

各講習は以下の通りである。

【自然体験の特質】澤田 賢一 氏（NPO 法人妙高山麗自然体験活動指導者会 理事、環境省 自然観察指導員）

【対象者理解】【自然体験活動の指導】瀧 直也 氏（信州大学教育学部 講師）

【自然体験活動の安全管理】永井 寛夫 氏（頸南消防署 職員）

【青少年教育における体験活動】星野 浩一（国立妙高青少年自然の家 所長）

【自然体験活動の技術】市川 哲・蟹江 真耶・東 千香子（国立妙高青少年自然の家 職員）

成 果：

1泊2日でNEALリーダーの全カリキュラムを修了できる内容であり、社会人の方が参加しやすい日程であった。

参加者は大学生から社会人と幅広い年齢層であった。国立妙高青少年自然の家での指導を請け負っているNPO法人妙高山麗自然体験活動指導者会からも青少年教育に携わる方々が指導方法を学ぶために参加した。



【自然体験活動の特質】
妙高戸隠連山国立公園に特化した講義後、フィールドで、樹木オリエンテーリングを行いながら植物について植物同定の場と自然体験活動の違いについても学ぶ機会となった。



【対象者理解】
指導者としての心構え、振る舞い、年齢や特徴を理解する等、1人1人の理解が重要であることを学んだり、アイスブレイクの活用法を体験したりすることができた。



【自然体験活動の指導・技術】
テント設営・薪割り・火起こし・草花遊びなどを行い、安全管理や基本的な技術について実践的に学ぶことができた。



【自然体験活動の安全管理】
AED・救急蘇生法・応急処置等の実技と講義を行い、体験活動で活かせる研修となった。

課題：

・得た資格を活用できる事業や活動の場を確保する。